

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	心不全患者の病院間連携について
研究責任者	聖隷浜松病院 A4 病棟 近藤理子
研究実施体制	聖隷浜松病院
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ~ 2023 年 12 月 31 日
対象者	聖隷浜松病院循環器内科に入院した患者のうち、2022 年 3 月～2022 年 4 月に循環器早期転院プロジェクトにて転院調整を実施した患者さん
研究の意義・目的	近年心不全患者は増加の一途をたどっています。超高齢化社会における日本において心不全パンデミックの状態にあり、今後も心不全患者は増加していく事が予測されます。心不全は重症度にもよりますが、おおよそ 10～19 日程度で治療期間が終了する事が多いです。しかし心不全患者の高齢化も併い入院による安静や活動制限により、ADL が低下して自宅退院が困難になったり、在宅サービスの調整が余儀なくされることはめずらしくありません。短期間で療養の場の意思決定や転院調整は困難であり、また在宅サービスの調整のための介護保険の申請や区分変更などの手続きは、サービス利用までに期間を要するため、治療が終了した時点で退院ができないケースが多いです。当院においても高齢心不全患者の在宅調整や転院調整に期間を要し、循環器病床の逼迫が発生しており、高度急性期病院の役割として急性期患者の受け入れのためには、スムーズな退院は不可欠です。今回、院内の地域連携室や医療相談室とともに、近隣の一般床や回復期病床、地域包括ケア病床を有する病院との連携により、退院調整が必要な患者さんの入院期間の短縮化につながった事例について報告します。
研究の方法	方法:対象患者について診療録より以下の項目の調査を行います。 年齢、性別、病名、入院中の治療内容(薬物療法、非薬物療法)、面談内容、医療福祉相談室での相談日や内容、多職種連携の内容 など
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 看護部 近藤理子 TEL:053-474-2222(代表) A4 病棟 9:00～17:00 平日